

2025年2月14日

各位

会社名 株式会社あかつき本社
代表者名 代表取締役社長 島根 秀明
(コード 8737 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理本部長 山田 孝樹
(TEL 03-6821-0606)

2025年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ

当社は、本日付け取締役会決議により、現在の業績の動向等を踏まえ、2024年5月15日に開示した2025年3月期(2024年4月1日~2025年3月31日)の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することを決定しましたのでお知らせいたします。

記

I 業績予想の修正

1. 2025年3月期連結業績予想の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	税金等調整前 当期純利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	52,000	4,100	4,200	4,200	2,600
今回修正予想(B)	59,000	4,100	4,200	4,200	2,600
増減額(B-A)	7,000	0	0	0	0
増減率(%)	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0
前期連結実績 (2024年3月期)	46,681	3,419	3,813	3,768	2,538

※「税金等調整前当期純利益」は、当社が重要視している財務指標のため、参考情報として開示しております。

2. 修正の理由

各セグメントにおける第3四半期までの状況及び通期見通し(今回修正予想)における前提は下表のとおりであり、これらの状況に鑑みて通期連結業績予想の修正を行います。

セグメント名	第3四半期までの状況及び通期見通し(今回修正予想)の前提
証券関連事業	<p>【第3四半期までの状況】</p> <p>基盤となる預り資産は、IFA部門を中心に資金導入が進み、914億円増加し6,490億円となりました。預り資産の増加により、営業収益及び各段階利益において前年同期を上回る結果となりました。</p> <p>【通期見通し(今回修正予想)の前提】</p> <p>IFA部門を中心とした資金導入ペース、マーケット環境に大きな変化がない前提のもと、預り資産の増加により、営業収益は前回発表時を上回る見通しです。今後も預り資産の増加に取り組んでまいります。その先行投資として管理体制強化を目的とした人件費等の固定費が増加していることにより、各段階利益は前回発表時の見込み通りとなります。一方、預り資産に対する固定費比率は減少傾向にあり、引き続き適切に管理してまいります。</p>

不動産関連事業	<p>【 第3四半期までの状況 】</p> <p>中古マンション買取再販・リノベーション事業においては、良好な中古マンション市場により、販売戸数が増加し、営業収益及び各段階利益において前年同期を上回る結果となりました。</p> <p>高齢者施設開発事業においては、第3四半期までの売却はありません。（前年同期は2施設の売却がありました。）</p> <p>【 通期見通し（今回修正予想）の前提 】</p> <p>中古マンション買取再販・リノベーション事業においては、物件の仕入・販売環境に大きな変化がない前提のもと、販売戸数の増加により、営業収益及び各段階利益は前回発表時を上回る見通しです。</p> <p>また、当社の不動産関連事業には、土地を取得して高齢者施設を建設し、運営事業者に長期賃貸した後、一定時期に施設を売却する「高齢者施設開発事業」と、当社の連結子会社が施設自体を運営する「高齢者施設運営事業」が含まれます。</p> <p>高齢者施設開発事業においては、第4四半期に1施設の売却を見込んでおりますが、当初計画していた売却対象の施設を見直したことにより、営業収益および各段階利益が前回発表時の見込みを下回る見通しです。</p> <p>高齢者施設運営事業では、入居者数が順調に増加しているものの、周辺地域に同じ形態の施設が開設された影響等により、当初計画していた稼働率に達しておらず、営業収益および各段階利益が前回発表時の見込みを下回る見通しです。</p>
---------	---

3. 将来予測の開示に関する考え方

証券事業の近年の拡大強化に伴い、グループ全体の営業収益・営業利益をはじめとした各段階利益の中での同事業の占める割合が大きくなっております。そのビジネスの特性上、株式市況等の影響による業績の変動幅が大きくなることから、当社グループ全体においても、単年度業績の振れ幅がこれまでよりも拡大し、今後もその傾向が強まっていくことが予想されます。

一般的に、証券事業を中心とする企業グループは、こうした理由から、単年度業績予想の開示を行わない傾向がありますが、当社では、投資判断に有用な情報提供を行うという観点で、単年度業績予想や中長期の経営数値目標などの将来の業績見通しを積極的に継続開示することを基本方針としております。

II 配当予想の修正

1. 2025年3月期配当予想の修正

	1株当たり配当金（円）		
	中間	期末	年間合計
前回予想 (2024年5月15日公表)	/	11円00銭	22円00銭
今回修正予想	/	17円00銭	28円00銭
当期実績	11円00銭	/	/
前期実績 (2024年3月期)	9円50銭	11円50銭	21円00銭

2. 2025年3月期配当予想の修正

今般、利益還元の一層の強化と資本効率の向上を目的に、ROE 4%を超える部分の一部を配当原資として2025年3月期の年間配当金を28円（内、期末配当金17円）といたしました。この結果、連結純資産配当率（DOE）*は5.0%となる見込みです。

（参考：1株当たり配当金、DOE、ROEの推移）

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)
1株当たり年間配当金	18円	19円	21円	28円
DOE	4.0%	4.1%	4.2%	5.0%
ROE	7.2%	5.5%	16.7%	15.3%
配当性向	55.0%	74.7%	25.4%	32.8%

*連結純資産配当率（DOE）＝1株当たり年間配当金÷1株当たり連結純資産の期首・期末平均

3. 当社の株主還元に関する基本方針

当社は、株主還元に関して、安定配当の観点から、財務の健全性と事業資金の確保に支障を来さない限りにおいて、DOEで年間4%以上の水準を維持し、また、単年度のROEが4%を上回る場合には、その超過する部分の一部または全部を原資とし、追加の配当支払いまたは自社株買い等による株主還元を行う基本方針を、2019年3月期より採用しております。

以 上